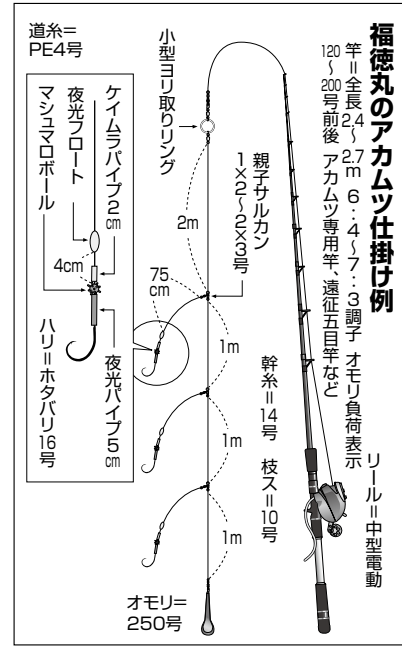


★最新版『沖釣り仕掛け全集』好評発売中!!



福徳丸のアカムツ仕掛け例

竿II全長24.27m 6:4:7:3調子 オモリ負荷表示
120〜200号前後 アカムツ専用竿、遠征五目竿など

リールII 中型電動

●Tackle Guide

リールは道糸が400メートル以上巻けるクラスの中型電動が適している。日によってはクロシビカマスが交じることがあり、オマツリしたときこの魚の鋭い歯が道糸に触れて高切れするケースがあるので予備のリールがあると安心。

アタリが出ないときの一手

アタリが遠のくと潮回りし

一年中アカムツが狙える海としてアカムツファンなら知らない人はいないだろう遠州灘の福田沖。当地で周年アカムツ乗合を出す福徳丸を訪れた5月28日は、地元静岡はもとより山梨、東京、栃木から6名の釣り人が集まった。「今年はず産卵が遅れていて、5月になってから50センチ級の大型が上がるようになりました」

寺田桂司船長によると、例年盛期は3月下旬〜5月上旬ごろなのだが、今年は5月中旬以降も好調で、一番いい日は55センチ、重さにして15キロの特大サイズを頭にトップ20尾以上と聞いて驚いた。期待を胸に5時に出船。釣り場は御前崎の手前くらいから天竜川の沖合までの水深180〜300メートル前後を状況で攻め分けているという。最近では航程1時間ほどのポイントが好調とのことだが、この日は風が強まる予報のため遠方へは行かず、真沖の250メートルダチで開始となった。

●船宿information
遠州灘福田港
福徳丸
☎0538-23-4843
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=アカムツ乗合一人1万3000円
(冷凍ホタレイカ、水付き)
▶備考=6人限定の予約乗合、5時出船。東名高速・袋井ICから車で15分

寺田 桂司船長

確率も高いという。続いて右ミヨシで35センチ級が上がり、取材の応援に駆けつけてくれた本誌レポーターの黒田さんが左トモで1尾目をキャッチ。さらに菅沼さん、福田さんと続く。どうやら食い気のある群れに当たったようだ。



▲福田沖のアカムツは小ぶりでも身に厚みがあり食べごたえがある



▲菅沼さんが上げた41センチ。本誌発売の6月後半も大いに期待できそうだ



▲福田沖は急斜面のポイントが多い。まめに底ダチを取り直してタナに仕掛けをキープしよう

口の特大サイズを頭にトップ20尾以上と聞いて驚いた。期待を胸に5時に出船。釣り場は御前崎の手前くらいから天竜川の沖合までの水深180〜300メートル前後を状況で攻め分けているという。最近では航程1時間ほどのポイントが好調とのことだが、この日は風が強まる予報のため遠方へは行かず、真沖の250メートルダチで開始となった。

級をダブルで取り込み幸先のいいスタートを切る。皆さんの仕掛けは胴つき3本バリ、オモリ250号。同船では以前はテンビン仕掛けをすすめていたが、数年前から潮が大きく回り続けるおかしな海況になってしまい、この悪潮にあたるオマツリが頻発してほくほくも大変なため、現在はシンプルなおもつ仕掛け

遠州灘福田港発!福田沖
福田沖は特大のアカムツが釣れるポテンシャルが魅力

本誌編集部 内山高典 Takahashi Uchiyama

続けて田島さんが30センチ級を追加。数はともかくオデコを出さないようにしていると船長が言っていたから、田島さんが潮先になるように船を当てていたのだろう。その後は水深200〜280メートル付近を流してポツポツ拾い釣り。予報どおり風が強くなってきた11時過ぎに沖揚がりとなった。

級主体にトップで5〜10尾くらいは釣れるというから、福田沖のポテンシャルの高さは相当なもの。首都圏から3時間ほどで着くアカムツの宝庫を擁する福徳丸のアカムツ乗合は6人限定。休日は満船必至、予定を決めたらすぐに予約を!

知得! Tips and Tricks
福田沖のアカムツ仕掛け例

写真は寺田船長の仕掛けの一例。ハリのチモトに夜光パイプ、マッシュマロボール、ケイムラパイプ、夜光フロートを配置。マッシュマロボールと、ハリスを2回通して固定したフロートの間でケイムラパイプが遊動する仕組みで、底ダチの取り直しや、誘いを入れたとき仕掛けがなびき、ケイムラパイプがわずかに動く。それが発光生物のようにチラチラと動き回っているように見えてアカムツの興味を引く、そんなイメージを膨らませて作っているとのこと。

福田沖のアカムツ仕掛け例